



一中だより

学校教育目標 自主・練磨・敬愛

目指す学校像「笑顔と活力あふれる学校」～一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばす～

「自己肯定感」

校長 岡島 一恵

今年度も折り返しを迎え、暑さも大分落ち着き、ようやく秋の気候になってきました。現在、川越第一中学校は、今月21日に行われる合唱祭に向けた練習に取り組んでおり、放課後練習の時間には、校舎中が歌声で包まれ、心地よい空間が生まれています。合唱祭当日は、是非子供たちの練習の成果を見ていただきたいと思います。

私は、学校行事は、日頃の教育の成果であると共に、取り組む過程で、子供たちを飛躍的に成長させることができると思っています。それは、学校行事は、成功や勝利、完成のために、大きな目標をもって、学級や学年、学校全体で臨むことができるからです。一人では成し得ないことに皆で取り組むことは、人の意見に合わせたり、意見がぶつかったり、悩んだり、我慢したりすることもあります。切磋琢磨する様々な経験によって、子供たちはたくさんのかたちを学び、これからの学習や生活に生かすことのできる力を身に付けます。例え、失敗したり、負けたり、思うような成果がでなかったとしても、悔しさや頑張ったという思いは、決して無駄にはなりません。無駄になるところか、逆に大きな成長につながることもさえあると思っています。何より、皆のために頑張った経験は、自己有用感を育み、自分自身の自信にも繋がっていきます。そうやって、子供たちは、達成感を味わい、自己肯定感が育まれていくのだと思います。



各種調査では、我が国日本の児童生徒は、他国に比べ自己肯定感が低いという結果が出ています。文部科学省国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターによると「大人は、子供を『褒める』とき、大人の水準で『褒める』ことが多い。子供は、子供なりのこだわりで努力したり工夫したりしたことを『認めてもらいたい』と思っている。」とあります。子供たちの自己肯定感を育むためには、「行事に取り組む、学習に取り組む際に、子供自身に目標や工夫する点、努力する点を考えさせ、その基準に沿ってどこまで達成できたかを評価することが『認める』という行為で重要になる。」とのことです。子供たちに寄り添い、子供たちの実際の行動と向き合うことで、初めて「褒める」行為が意味のある行為となるのだと思います。

合唱祭のクラス練習の様子を覗くと、それぞれパート練習を行ったり、合唱隊形になって指揮者の振る指揮に向かって声を合わせたりとリーダーを中心に自分たちで自主的・主体的に練習を進めています。多くの場面は、共に歌声を合わせることが楽しい雰囲気を感じられますが、中には、上手いかず悩んで試行錯誤している学級の様子も伺えます。どのクラスも、少しでも上達しようと一生懸命です。先生方も、子供たちのそんな様子を様々な想いで見守り、時にはサポートしたりしています。合唱祭の練習をとおして、一中の生徒たちが自己有用感を味わい、自己肯定感が少しでも育まれていくこと、そんな練習過程であることを願ってやみません。





9月9日に、二年生「子育て体験」が実施され、妊婦体験や赤ちゃん体験が行われました。命の重みを味わうことができたかな？



9月3日に、学校運営協議会の協力により、一年生防災授業が実施されました。皆真剣な態度で臨んでいました。

去る9月17日から市内新人戦が実施され、皆頑張っていました。お疲れ様でした！！サッカー部、剣道女子団体、個人（〇〇さん、〇〇さん）が県大会出場を決めました。



9月3日に、親師会の御協力をいただき、前期生徒会福祉委員会が花植えを行い、校地内が華やかになりました。お疲れさまでした！！

9月12日に実施された、市英語祭に本校の代表として、3年の〇〇さん、〇〇さんが出場しました。写真は、本校の体育館で実施された朝会での発表の様子です。2人とも内容も英語のスピーチもとても素晴らしかったです。



新生徒会本部役員

学校運営協議会より、柔道場の壁に時計の設置を行っていただきました。ありがとうございます！！

第79期生徒会発足

- 会長 〇〇 〇〇さん(2年)
- 副会長 〇〇 〇〇さん(2年) 〇〇 〇〇さん(2年)
- 本部役員 〇〇 〇〇さん(2年) 〇〇 〇〇さん(2年) 〇〇 〇〇さん(2年)
- 〇〇 〇〇さん(1年) 〇〇 〇〇さん(1年) 〇〇 〇〇さん(1年)

9月26日に生徒会本部役員選挙立会演説会、投票が実施され、9月30日に第79期本部役員が発足しました。立会演説会では、どの立候補者も一中を更にいい学校にしたいという熱い想いを語る素敵な演説でした。当選した生徒も惜しくも当選できなかった生徒もその候補として立ち上がった気持ちや勇気に敬意を表したいと思います。30日に実施された任命式では、一人一人に任命書を交付し、旧本部役員から新本部役員へバトンが引き継がれました。旧本部役員には今までの活動を労うとともに今後の生徒会本部への協力をお願いしました。新本部役員には、公約の実現と「一中をいい学校に」と演説した想いの実現に向けての頑張り期待したいと思います。